

## 平成30年度「別府市学力調査」(平成31年1月実施)の結果

別府市教育委員会

### 1 調査結果公表の目的

平成30年度「別府市学力調査」結果及び別府市全体の課題と課題解決の方策を公表することにより、別府市児童生徒の学力向上に向けて、学校、家庭及び地域がそれぞれの果たすべき役割を認識し、一体となって取組を推進する機運を高めることを目的として調査結果を公表します。

### 2 調査の概要

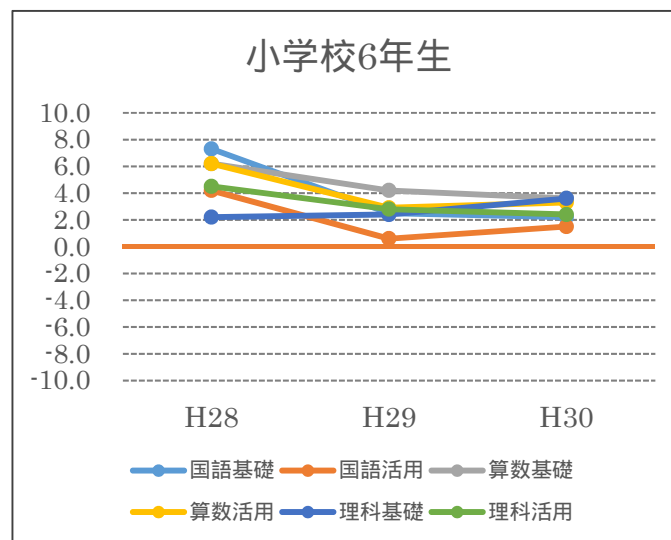
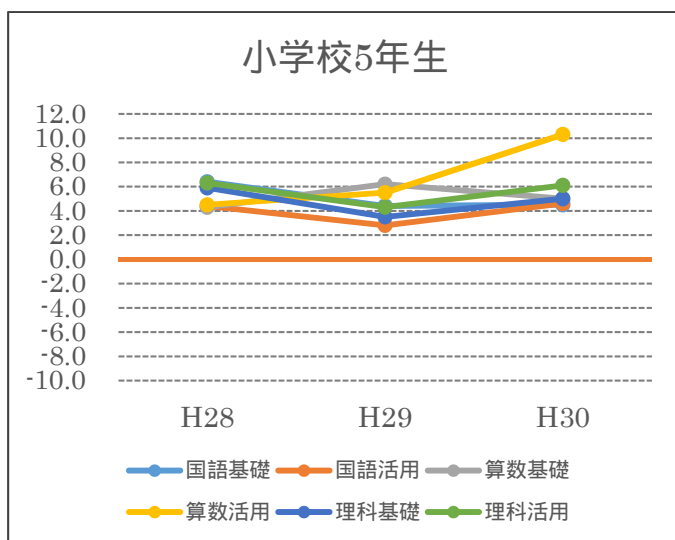
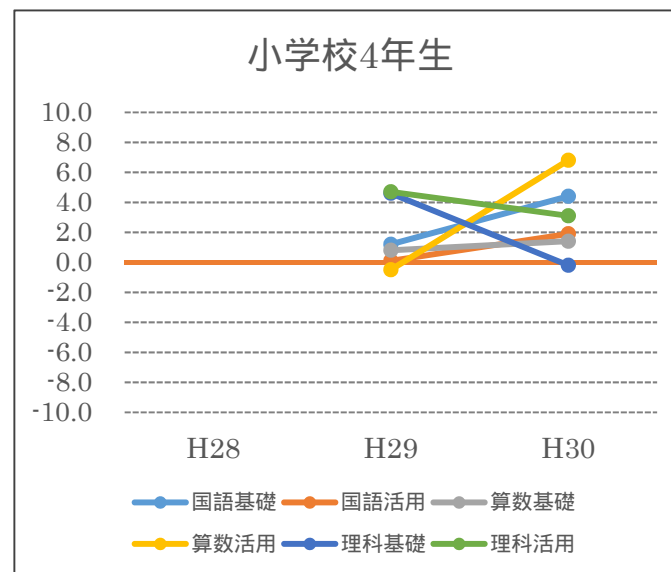
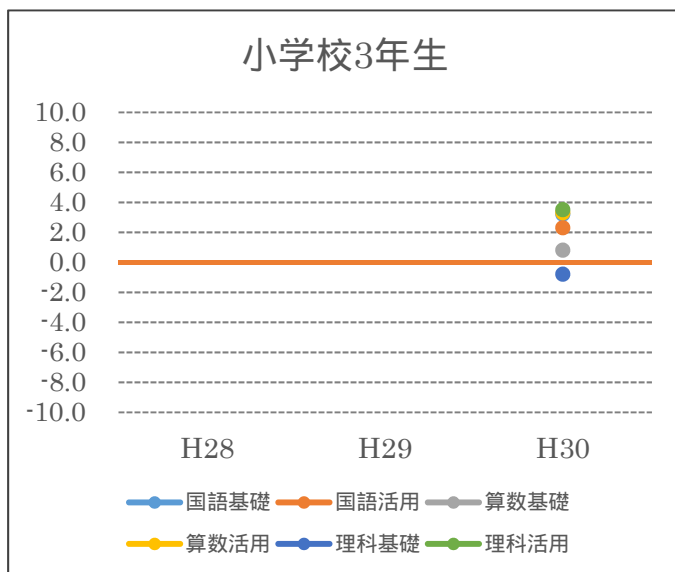
	別府市学力調査(別府市教育委員会実施)
調査目的	市内小・中学校児童生徒の、学習指導要領に示された内容の定着状況を客観的に把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることにより、児童生徒の確かな学力の向上に資する。
実施日	平成31年1月11日(金)
調査対象	小学校第3～6学年及び中学校第1・2学年
調査事項	国語(「基礎」及び「活用」に関する問題) 社会(「基礎」及び「活用」に関する問題)・・・中学校のみ 算数・数学(「基礎」及び「活用」に関する問題) 理科(「基礎」及び「活用」に関する問題) 英語(「基礎」及び「活用」に関する問題)・・・中学校のみ
備考	別府市立全小・中学校を対象に実施

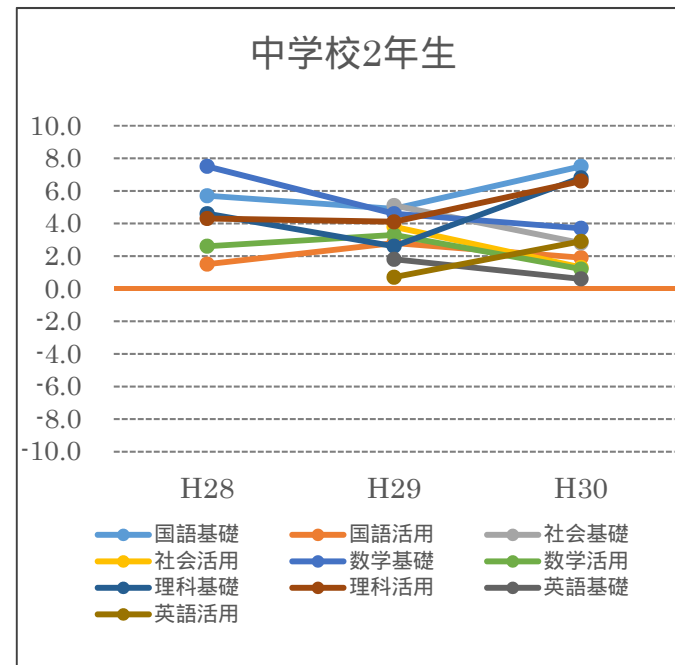
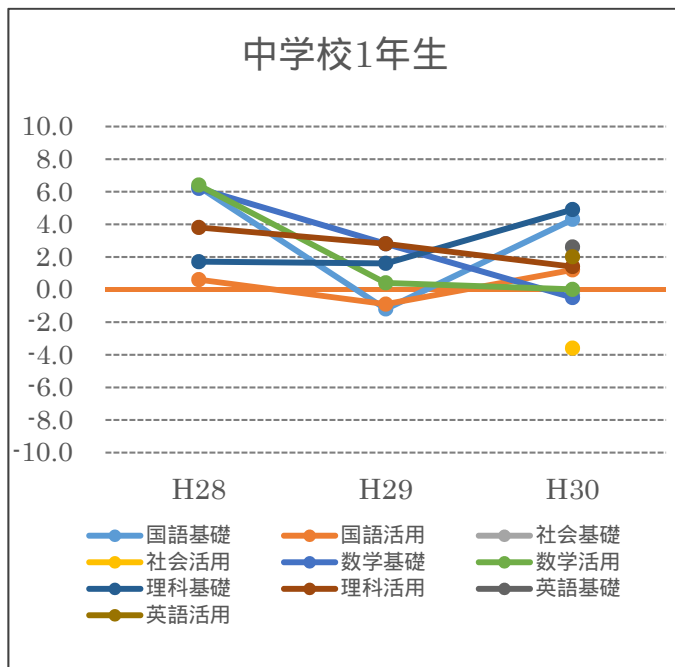
### 3 調査結果

学 年	小学校3年生						小学校4年生					
	国語		算数		理科		国語		算数		理科	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	74.9	65.2	80.7	59.5	74.7	39.7	81.5	66.2	77.5	66.5	72.8	58.3
母体正答率	71.7	62.9	79.9	56.2	75.5	36.2	77.1	64.3	76.1	59.7	73.0	55.2
差	3.2	2.3	0.8	3.3	▲ 0.8	3.5	4.4	1.9	1.4	6.8	▲ 0.2	3.1
学 年	小学校5年生						小学校6年生					
	国語		算数		理科		国語		算数		理科	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	79.4	62.9	74.9	45.6	77.1	57.3	82.2	54.4	79.9	60.6	75.1	58.8
母体正答率	74.9	58.3	69.9	35.3	72.1	51.2	80.0	52.9	76.3	57.3	71.5	56.4
差	4.5	4.6	5.0	10.3	5.0	6.1	2.2	1.5	3.6	3.3	3.6	2.4

学 年	中学校1年生									
	国語		社会		数学		理科		英語	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	75.8	66.6	63.9	27.0	69.8	56.0	65.4	53.6	63.6	40.7
母体正答率	71.5	65.4	64.2	30.6	70.3	56.0	60.5	52.2	61.0	38.7
差	4.3	1.2	▲ 0.3	▲ 3.6	▲ 0.5	0.0	4.9	1.4	2.6	2.0
学 年	中学校2年生									
	国語		社会		数学		理科		英語	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	73.7	60.7	60.8	47.5	68.2	46.8	69.7	53.5	61.6	44.6
母体正答率	66.2	58.8	58.0	46.2	64.5	45.6	62.9	46.9	61.0	41.7
差	7.5	1.9	2.8	1.3	3.7	1.2	6.8	6.6	0.6	2.9

#### 4 同一集団の成長の過程（母体正答率との差）





## 5 調査結果の概要

- 【小学校3年生】 理科「基礎」が母体平均正答率をわずかに下回っているが、その他の項目（5項目）はすべて母体平均正答率を上回っている。
- 【小学校4年生】 理科「基礎」が母体平均正答率をわずかに下回っているが、その他の項目（5項目）はすべて母体平均正答率を上回っている。
- 【小学校5年生】 全項目で、母体平均正答率を上回り、算数と理科の「基礎」「活用」は、母体平均正答率を5ポイント以上上回っている。
- 【小学校6年生】 全項目で、母体平均正答率を上回っている。
- 【中学校1年生】 社会「基礎」「活用」、数学「基礎」が母体平均正答率を下回っているが、その他の項目はすべて母体平均正答率以上である。
- 【中学校2年生】 全項目で、母体平均正答率を上回り、国語の「基礎」と理科の「基礎」「活用」は、母体平均正答率を5ポイント以上上回っている。

## 6 調査結果を踏まえたこれからの取組

### (1) 基礎的な内容の定着について

今回の学力調査の結果から、定着が不十分な単元や領域を明らかにして、授業の一部や放課後の補充学習、家庭学習を利用して復習することで、基礎的な内容の定着を図ります。

### (2) 活用力の向上について

問題解決的な授業・活用型の授業を単元に1つ以上は位置づけるなどして、活用力(思考力・判断力・表現力)の育成に向けて取り組みます。また、授業において「書く」「説明する」「振り返る」等の学習活動の充実を図ります。

### (3) 今回の学力調査の範囲外の学習内容の定着について

各学校において、客観的な評価の実施によって定着が不十分と考えられる学習内容を把握し、それぞれの学年で学ぶべき内容を、年度内に確実に身につけさせます。

### (4) 教師の授業改善の推進について

講義型授業から主体的・対話的で深い学びを創造する授業への転換を図ります。また、思考ツールや考えるための技法、ICT機器等を活用した授業を推進します。

今回の学力調査結果及び(3)の評価から、教師個々が「これまでの指導のどこに問題があったのか」「どのように変えればよいのか」を具体的に明らかにすることで、授業改善に活かします。

## 7 引き続き取り組むこと・協力をお願いしたいこと

### 【 教育委員会 】

学校の重点目標に位置づけている学力について、学期毎に客観的な評価を行うよう指導・助言をします。

各種調査結果に基づいて各学校が作成する「学力向上プラン」に対し、指導・助言をします。

子どもが意欲的に取り組む「思考力・判断力・表現力」を育む授業を推進します。

学校が地域や家庭と協働して教育を行えるよう、コミュニティ・スクールでの支援体制を整えます。

### 【 学 校 】

各種調査結果に基づいて各学校が作成する「学力向上プラン」を確実に実施し、短期で評価、補充をします。

「書く」「説明する」「振り返る」等の学習活動を授業の中に位置づけます。

授業を積極的に公開し、参観者からの意見や指摘による授業改善を図ります。

個々に応じた学習をする時間を確保すると同時に、その効果について確実に評価します。

小テストや振り返りの時間、家庭学習プリントの工夫を繰り返し、日々の学習内容を定着させます。

情報を発信したり、家庭や地域と協議したりして、一緒に取り組みます。

### 【 家庭・地域 】

集中して学習に取り組める家庭学習の時間を確保するとともに、家庭学習ができる環境を整えてください。

家庭学習の手引き等を活用して、小学校低学年から家庭学習に取り組む習慣をつけ、学習の跡を褒めてください。

子どもが読書をする時間を設定したり、読書ができる環境を整えたりしてください。

P T A活動、学校の諸行事、地域行事等、あらゆる場面で子どものよりよい成長を促してください。